

初めての長州旅行

白虎隊の会会津支部 森川敬寿

令和6年8月、飯沼会長より山口県への旅行に誘われました。『はい、行きます』と即答しましたが、以前から一度は行つて見たい場所だったからです。出発予定日は10月31日に決まり、それから待ち遠しい日々を送りました。

当日会津若松駅6時36分発の電車に乗り一路東京へ。東京駅で飯沼ご夫妻と合流、新幹線で新山口駅を目指しました。会津若松を出てから約8時間後新山口駅に到着。

157年前長州兵が約1300km以上離れた会津迄歩いて60日以上掛かった筈なのにたった8時間で着いてしまいました。

ここで飯沼一元夫人楊子さんのご友人島幸子さん、白虎隊の会下関支部長吉井克也氏と合流し、まず美祢市役所へ向かい篠田洋司市長、南順子教育長、千々松正幸局長を表敬訪問し暫し歓談しました。

次に飯沼貞吉が匿われていた美祢市檜崎屋敷跡の「恩愛の碑」記念碑へ向かいました。静かな山間にひっそりと建っていました。

そこから一路今夜の宿泊地『ホテル西長門リゾートホテル』へ向かいましたが、ここで

思わぬハプニング。夕食が準備されておらず、急遽10km先のコンビニに買い物ドライブし、部屋に戻って弁当で乾杯。一日目の予定を終了しました。

二日目

レンタカーで明倫学舎を目指し、中原正男氏の案内で学舎を見学しました。ここは江戸時代日本三大藩校 水戸弘道館、萩明倫館、会津日新館のの一つ萩藩校明倫館の跡地に建てられた旧明倫小学校の建物を萩明倫学舎として改修したものです。現在、元明倫館の正門だった南門は堂々たる立派なものでした。

次に訪れたところは萩市唐樋町にある中央地蔵堂。ここにはお堂の中に「忠臣義士」の石版画（白虎隊士自刃の図）が飾られています。町内の方々が守つて下さっているとのこと。

昼食は白虎隊の会会員の原田靖子さんにお世話になり、その後抹茶を立てていただきました。

次に吉井支部長のご案内で下関市功山寺万骨塔を訪ねました。ここには幕末の志士たちの名前が刻まれた霊石を全国各地から集め、大きな土饅頭の下部にはめ込んだもので、自刃した白虎隊士名を刻印した「白虎隊霊石」と白虎隊の会が寄進した「山川健次郎霊石」がありました。

その後、武家屋敷が並ぶ町中や現在田中絹代記念館になっている逋信省下関郵便局を車中よ

り見学しながら今夜の宿になる「下関市営国民宿舎海峡ビュー」に到着。吉井支部長ご夫妻、渡部副支部長はじめ大勢の皆様と夕食を共にし、大歓迎をして頂きました。（感謝）

最終日、前日からの雨が降り続き、下関市内は土砂崩れも発生したようで行き止めの道路もあり、あちこちで車が渋滞でした。

福岡空港発の飛行機も90分遅れで離陸しました。今回は初めての山口旅行でしたが、各地で皆様の温かい御もてなしを受け感謝して居ります。今後もよろしくお付き合いをお願いいたします。



下関市功山寺万骨塔白虎隊と山川健次郎霊石前で
2024年11月1日。左筆者、右飯沼会長